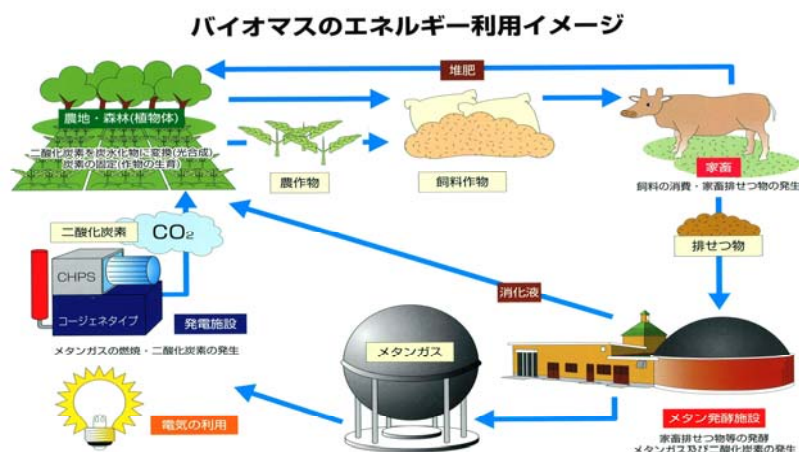


所在	宮崎県都城市吉之元町5265-103	事業主体	株高千穂牧場
問い合わせ先	TEL:0986-33-2102 FAX:0986-33-2105	見学	可
施設名	バイオマスプラント (家畜ふん尿等再利用施設)	運転開始年	2004年
出資比率	資源循環型農業・食品産業総合支援事業	原料	家畜排泄物(乳牛・羊・馬)
利用法	施設内の電力(畜舎関係施設の年間使用電力の60%)	原料調達費	所内のみ

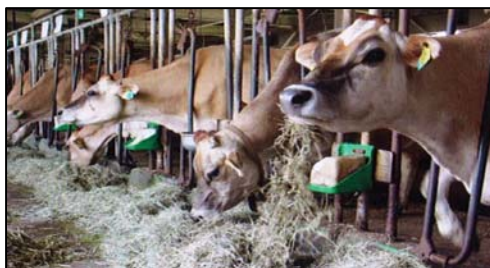
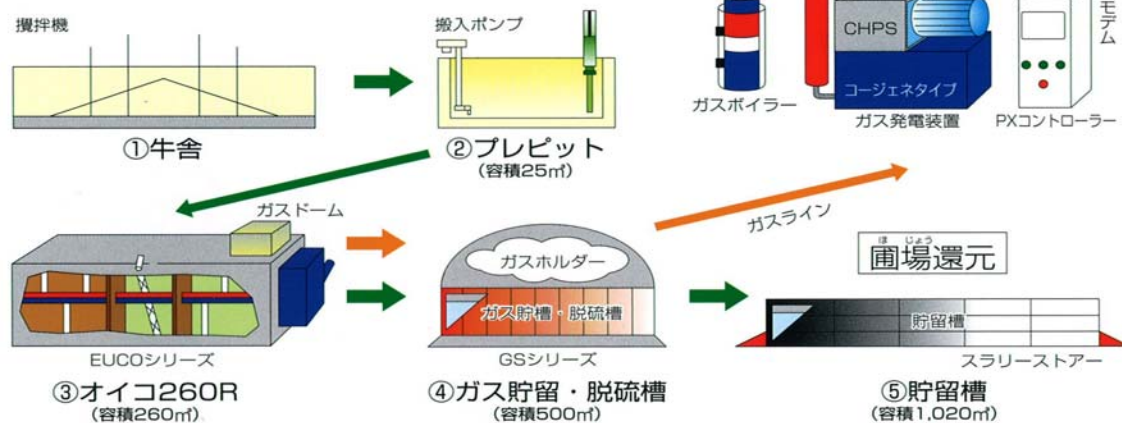
システムフロー (フロー図)



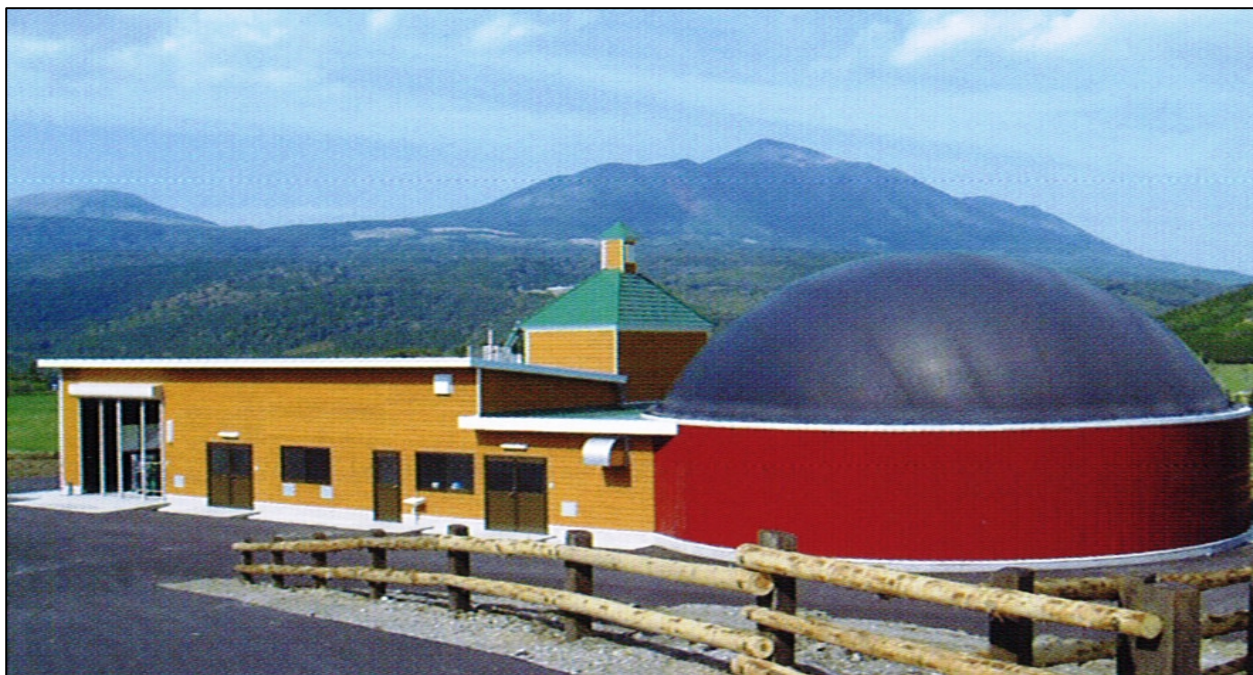
システム概要

フローシートEUCO型+GS型

- 特徴**
- ・発酵の過程にそって糞尿が流れるシステムなので効率が良い。
 - ・攪拌、加温の効率が良い。



システムフロー
(施設全景)



施設仕様	前処理設備:原料ピット(25m³) 発酵設備:第一発酵層(260m³)、二次発酵層(500m³) 発電施設:セントラルヒートシステム(CHPS方式)発電機(30kW) 後処理設備:消化液貯槽槽(1,020m³)
運転状況	家畜排泄物:5.2t/日、実績稼働時間 1日の稼働時間:12時間 年間の稼働日数:365日 発電機:30kW(畜舎関連の電力利用) 消化液:液肥として圃場へ散布
コスト (イニシャルコスト)	事業費:1.35億円 財源:国庫補助金 1/2、県補助金 1/6、自己負担
コスト (ランニングコスト)	燃料費:5%、電気料:5%、人件費:10%、修繕費:30%、減価償却その他:50%
事業開始の背景	環境にやさしい循環型酪農を目指すため
効果	地球環境保全に貢献 地球温暖化対策への貢献 堆肥の異臭化削減 畜舎内の電気使用量の削減
施設運営上の課題	施設機器の維持管理費の増化 バイオガスの熱エネルギー化 一層の温暖化対策への取組み